



ラグビー選手((株)クボタ所属)
たてかわ はるみち
立川 理道 さん
天理市出身 東京都在住

4歳から兄の影響でラグビーを始めました。大学卒業まで天理でラグビーを学ばせて頂きましたが、指導者にも恵まれ、かけがえのない仲間と共に成長することができ、全国大学選手権大会で初の決勝戦まで進むことが出来ました。結果は惜しくも準優勝でしたが、天理ラグビーに新しい歴史を残せたことは今でも誇りに思っています。

2012年には、株式会社クボタでプレーすることとなり、苦しい年もありましたが会社のサポートや家族や仲間を支えられて、日本代表に選出されたときはすごく嬉しかったです。昨年のワールドカップ初戦の南アフリカ戦で、歴史的勝利を収めることが出来たのですが、奇跡や偶然ではなく、代表チームが4年間ハードワークしてきた必然の勝利だったと思います。目標であるベスト8にはあと一歩で届かなかったのですが、帰国後、ラグビーを取り巻く環境が変わり、メディアなどにも多く取り上げら

れ、嬉しい反面、ブームで終わらないようにしていくことが大事だと思っています。

2019年には、日本でワールドカップが開催されます。昨年の結果は素晴らしいスタートになったと思うので、これからの4年間、しっかり準備をして、また代表としてプレーする姿を、ふるさと・奈良のみなさまに見ていただきたいと思います。

人権コーナー

毎月11日は
人権を
確かめあう日



てんいち先生 ひかりちゃん

今月の標語

伝えよう ラインじゃなくて 言葉でね

御所市立 大正中学校 3年 小倉 菜津さん

今月のポスター



宇陀市立榛原中学校 2年
とくなが ひみや
徳永 郁弥さん



葛城市立新庄中学校 2年
ますい めくみ
増井 愛美さん

～国籍や国境を越えた絆を大切に～

東日本大震災の発生から、この3月11日で5年になります。

甚大な被害をもたらしたこの大震災は、一方で、海外との絆の大切さを再認識する大きなきっかけにもなりました。震災発生直後より、国内のみならず、世界各地から被災地へ非常に多くの励ましやお見舞いのメッセージ、義援金や支援物資が届けられたのです。

海外から寄せられたこれらの心温まる支援の背景には、各国との長年にわたる友好交流や国際協力の積み重ねによって培われた日本への親しみ、信頼、感謝の気持ちがあると考えられます。

このことを心に留め、私たち一人ひとりが、世界各地には、紛争や自然災害、貧困などに直面している人々がいるということに思いを馳せ、関心を持ち続けることが重要です。また、身近に出会う日本で生活している外国人や海外からの観光客の方に、日本人の優しさや温かさを感じてもらえるような、人と人との交流を積み重ねていくことも意義深いのではないのでしょうか。

東日本大震災から5年という節目にあたり、あらためて、国籍や国境を越えた絆を深める大切さについて考えてみましょう。

クイズ&プレゼント

○○○○に当てはまる文字を教えてください。

Q さまざまな障害について知り、配慮の仕方などを理解して実践していく運動は?

A まほろばあい○○○○運動

ヒントは5ページ

1月号の答えは“書紀”でした。応募総数1132件。

正解者の中から抽選で

わくわく日本書紀すごろくを5名の方にプレゼント!

※個人情報、プレゼント発送以外には利用いたしません。

締め切りは3月31日(消印有効)

ハガキに答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。
HP(www.pref.nara.jp/30222.htm)からも3/1以降応募できます。

